

<学校教育目標>

いのちを大切に、自ら学び、心身ともにたくましい子供の育成

<目指す学校像>

◎楽しく活力に満ちた学校 ◎自他を大切に作る学校 ◎保護者に信頼され、地域に応援される特色のある学校

<目指す児童像>



めくもりのあるこども



まなびつづけるこども



つよくたくましいこども



こころをこめてあいさつするこども

毎日1時間の過ごし方に大切にしましょう

(10月9日(金) 第1学期終業式にて)

全校のみなさん、おはようございます。今日は1学期の終業式です。4月に新学期がスタートして、勉強や運動、行事や係の仕事など、本当によくがんばりました。できるようになったことが増えた人も、なかなかうまくいなくて悔しい思いをした人も、その一つひとつが、みなさんの成長につながっています。

あいさつ+「はい(返事)」、「にこ(笑顔)」、「ぴん(背筋をピンと)」 今日みんなのにこにこ笑顔と、ぴんとした姿勢で校長先生のお話を聞いてもらい、とてもうれしいです。

さて、みなさんは少し前に日本で開催された「アジア大会」という大きなスポーツの大会を知っていますか？ アジアのたくさんの国から、世界トップクラスの選手たちが集まって競い合う大会です。

その大舞台で、日本中、そして世界中をびっくりさせる出来事がありました。なんと、皆さんと同じ小学生、11歳・小学5年生の栗原悠輝(くりはら ゆうき)選手が、大人たちを次々と破って、大会史上最年少で「金メダル」に輝いたのです。

彼が出場した競技は、eスポーツの『ぷよぷよ』というパズルゲームです。ゲームをやったことがある人もいないかもしれませんね。

栗原選手がこのゲームに出会ったのは、小学校1年生の時だそうです。最初は「楽しいな」「好きだな」という気持ちから始めました。しかし、彼はただ遊ぶだけでなく、「もっと上手になりたい」「もっと強い人と戦いたい」と、毎日、1時間から2時間練習に取り組みました。そして見事に金メダルを獲得したのです。彼が金メダルをとった後、インタビューで「将来の夢は電車の運転士か、塾の算数の先生になりたい」とお話ししていたことにも、びっくりしました。

校長先生は、栗原選手の活躍を見て、皆さんに2つのことを伝えたいと思いました。

1つ目は、「夢や挑戦に、年齢は関係ない」ということです。

「まだ小学生だから無理だろう」「大人には勝てないだろう」そんな周りの思い込みを、彼は自分の努力と挑戦する心で見事に吹き飛ばしてくれました。皆さんが「やってみたい!」と思うことに、早すぎることも、遅すぎることもありません。

2つ目は、「『好き』という気持ちは、ものすごいパワーになる」ということです。

皆さんの周りにも、勉強、スポーツ、絵を描くこと、読書、あるいは生き物の観察など、時間を忘れて夢中になれるものはありますか？ どんな小さなことでも構いません。自分の「好き」を大切に、一歩踏み出して挑戦を続けると、それはいつか皆さんを誰も見たことがないような素晴らしい景色へと連れていってくれます。

「夢や挑戦に、年齢は関係ありません」

みなさんも、自分をもっともっと成長していくために、毎日の1時間という時間をどんなことに取り組みでいきたいか、いろいろ考えてみてください。

2学期もあいさつ+「はい」・「にこ」・「ぴん」、そして周りの友達と仲良く、毎日を笑顔で元気に過ごしてほしいと思います。これで、校長先生のお話を終わります。